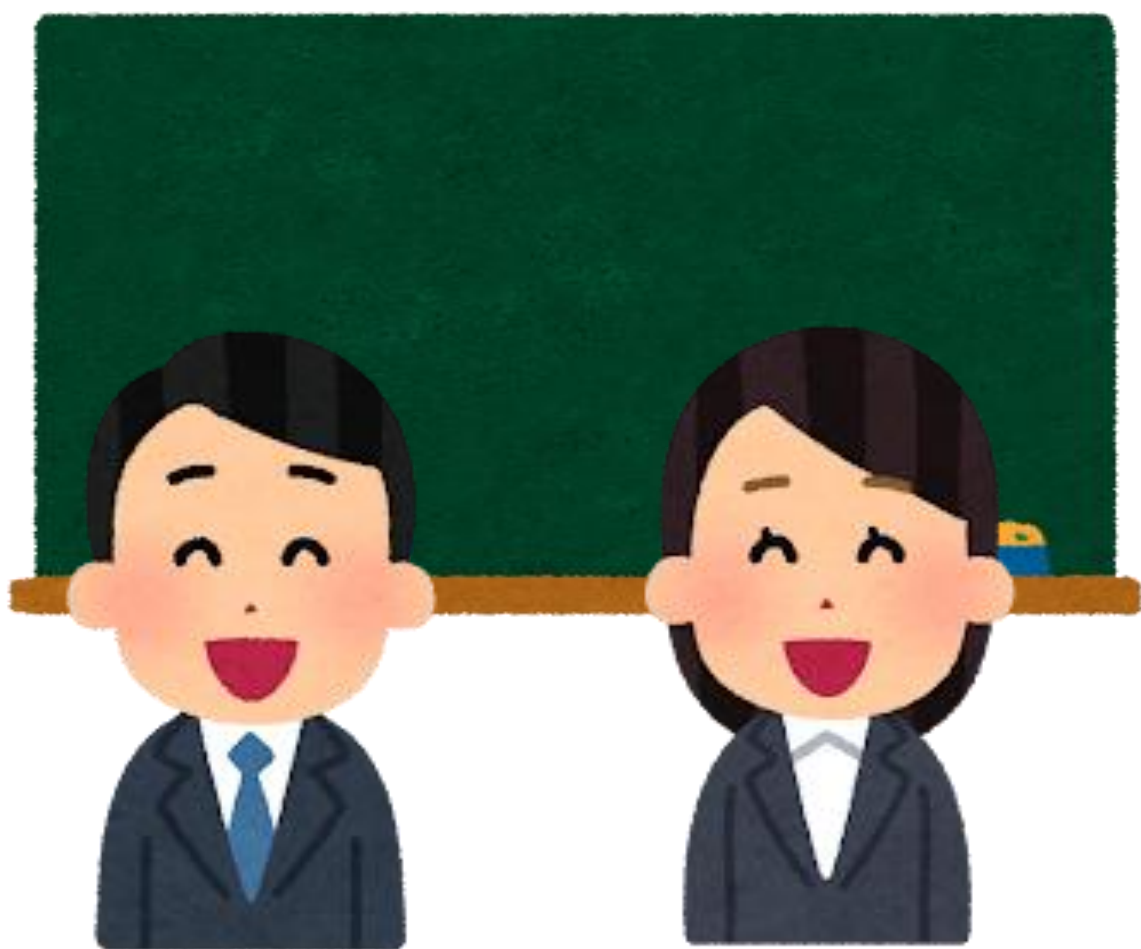


令和7年度  
教材 & 指導アイデア集



県立新発田竹俣特別支援学校いじみの分校  
自立活動部

1

## 持ち物は自分でそろえよう

教材写真



### 【 ねらい 】

○学校への持ち物を、家族からの手伝いなしで自分で整えることができる。

### 【 材料 】

・忘れ物チェッカー

### 【 作り方・準備 】



- ①チェッカーに、学校で必要な家庭からの持ち物を記す。  
※まずはハンカチから挑戦！

### 【 使い方(指導方法) 】

- ① チェッカーを通学リュックに付ける。
- ② 登校前に自分で持ち物を整え、チェッカーを操作する。
- ③ 登校後に取り組みを確認し、課題を遂行できていたときは大いに称賛する。

### ※アレンジポイント

学校への持ち物を整えるのが苦手な家族にも使える。

1 健康の保持

2 心理的な安定

3 人間関係の形成

4 環境の把握

5 身体の動き

6 コミュニケーション

## 『がんばればいいことがあるかも』

### 教材写真



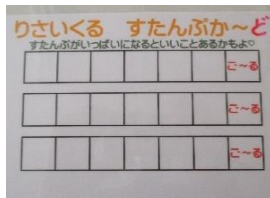
### 【 ねらい 】

○少しやる気がおきないときも、何かちょっとしたきっかけで活動に取り組むことができる。

### 【 材料 】

- ・スタンプカード
- ・シール
- ・スタンプ

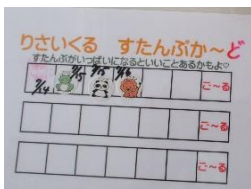
### 【 作り方・準備 】



①スタンプの台紙を作る。ゴールまでの回数が適度になるように考える。今回は7回に設定する。



②大好きな動物のシールやスタンプを用意する。



③活動が終えてから、選んだシール(スタンプ)を貼る。

④ゴールの「お楽しみ」を設定する。

### 【 使い方(指導方法) 】

①個別の学習のときに、移動を渋るような様子が見えた時「帰って来たらスタンプを押そうか」と促す。

②教室に戻ったら、好きなスタンプを押したり、シールを選んで貼ったりする。(両手を動かす)

③ゴールまでたまったら「お楽しみ」を実行する。(個別の学習につながるような内容)

## 『手順表』

## 教材写真



## 【ねらい】

○手順表を手がかりに、朝の準備などスムーズに取り組むことができる。

## 【材料】

- ・ホワイトボード
- ・ラミネート

## 【作り方・準備】



① 小さなホワイトボードを用意する。



② やることを示したものにラミネートをかけ、両面にマグネットシートを貼る。

## 【使い方(指導方法)】



- ① ホワイトボードにやることを示したプレートを貼っておく。
- ② 順番に取り組んだ内容のプレートを裏返しにしていく。

## ※アレンジポイント

- ① 取り組む内容については、給食の準備、1日の日程など、いろいろ変えることができる。

## できるかな(さつまいもの苗植え)

### 教材写真



### 【ねらい】

- ・さつまいもの苗植えの事前学習として植え方を知る。
- ・

### 【材料】

- ・針金
- ・毛糸(緑・白)
- ・色画用紙(緑・黄緑)
- ・養生テープ(黄緑)

### 【作り方・準備】



- ①シュレッダーの紙を土に見立てる  
(模型苗を縦に植えられるように筒をセッティングしておく)

### 【使い方(指導方法)】



- ① 児童が順番に筒の中に模型苗を入れる



- ② 土(シュレッダー)をかける

4－(1) 保有する感覚の活用に関すること。

関連項目 6－(1) 6－(2)

## 変身カタツムリ

### 教材写真



### 【 ねらい 】

- ・イラストに注目しながら話を聞くことができる。
- ・教師の発問等に答えることができる。

### 【 材料 】

- ・カタツムリイラスト、食べ物イラスト
- ・色画用紙(今回は折り紙)
- ・ラミネートシート

### 【 作り方・準備 】

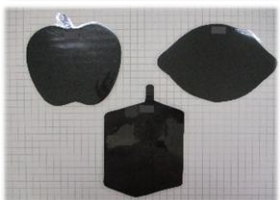


①カタツムリのイラストとそのイラストの殻の部分を少し大きくしたものを用意し、切ってラミネートを掛ける。

- ・カタツムリの殻の部分を切り抜く
- ・殻の一枚は殻の形通りに、もう一枚は渦巻き模様を切り出す。



②食べ物のイラストを用意し、形に切り出して、裏に同じ形の黒い紙を貼る。ラミネートをかける。



③殻の窓上になっているところと重なるように配置して折り紙をラミネートシートに設置して貼る。  
(A3の大きさの画用紙で代用可)

写真

### 【 使い方(指導方法) 】



①カタツムリのイラストと食べ物の黒い面を提示して「これは何？」と食べ物のシルエットクイズをする。

②食べ物のイラストを裏返して答え合わせをする。

③カタツムリに食べさせる真似をして、「何色に変わる？」と聞く。

④紙芝居のように2番目のシートを抜いて色が変わる様子を見せる。

★④までを7回繰り返す。

### ※アレンジポイント

- ・カタツムリをオバケにしたり、別の動物にしたり、児童の興味に応じて変更可能。

1 健康の保持

2 心理的な安定

3 人間関係の形成

4 環境の把握

5 身体の動き

6 コミュニケーション

4ー(1) 保有する感覚の活用に関すること

関連項目    2ー(1)    3ー(1)    5ー(1)(5) 6ー(1)

## 『だるまさんが』

### 教材写真



### 【 ねらい 】

- 自分の働き掛けにより、だるまさんが変化することに気付く。
- 物を媒介に教師とやりとりをする。

### 【 材料 】

だるまさんイラスト、テープ、ペットボトル、豆(音が鳴るもの)  
ひも、風船、ペン、空気入れ、クリアファイル、布  
滴下台(ハンガーラック也可)、タブレット(DropTap)、空き箱

### 【 作り方・準備 】



- ① 『どてっ』
  - ・ペットボトルに豆を入れる。
  - ・だるまさんのイラストを貼る。
  - ・ペットボトルの口にひもを結ぶ。



- ② 『ぷしゅーっ』
  - ・風船にだるまさんの顔を描く。
  - ・空気入れて膨らませる。



- ③ 『ぷっ』
  - ・DropTapに写真と音声を入れる。



- ④ 『びろーん』
  - ・だるまの下半身を貼ったクリアファイル、布、だるまの上半身、ひもをつなげる。
  - ・滴下台にセットする。



- ⑤ 『にこっ』
  - ・箱にだるまのイラストを貼る。
  - ・箱にひもを2本(引っ張る用・押さえる用)付ける。

### 【 使い方(指導方法) 】

- ① 「だるまさんが…」の後に、押したり引いたりして倒す。ひもを引いて倒す。
- ②                   〃                   風船が縮む様子を見たり触ったりする。空気をを感じる。
- ③                   〃                   タブレット画面をタップして音を鳴らす。
- ④                   〃                   ひもを引いて布を伸ばす。
- ⑤                   〃                   ひもを引いて他の面を出す。顔のパーツを貼る。

※アレンジポイント:児童生徒の実態に合わせてひもの長さや滴下台の高さ、遊び方を変える。

1  
健康の保持

2  
心理的な安定

3  
人間関係の形成

4  
環境の把握

5  
身体の動き

6  
コミュニケーション

朝顔をそだてよう

1  
健康の保持

2  
心理的な安定

3  
人間関係の形成

4  
環境の把握

5  
身体の動き

6  
コミュニケーション

教材写真



【 ねらい 】

○友達と一緒に色々な支援具などを使って、朝顔を育てる。

【 材料 】

朝顔セット(土、プランター、種、肥料)  
ペットボトル、支援具、ビニール袋

【 作り方・準備 】



①ビニールを車椅子等にかける。



②傾斜台を準備する。



③へこみの大きいお茶の空きペットボトルを用意し、ペットボトルの口に朝顔セットに入っていたじょうろを付ける



④手や腕の支え台(クッション、硬めのスポンジ)を準備する。

【 使い方(指導方法) 】



①目線の先に活動が見えるようにする。



②少ない力で、取り組めるように働き掛ける。



③ツルや花、水など触れたり、iPadで撮影したりする。

※アレンジ

①③友達と一緒に自撮りするものいいかも！

自立活動 こんな子にオススメ！⇒手と目の協応運動を促したい、手先の細かな動きを獲得させたい

4ー(4) 感覚を総合的に活用した周囲についての把握と状況に応じた行動に関すること

関連項目 5ー(5) 4ー(1)

## 『色に合わせてをいれてみよう』

教



### 【 ねらい 】

○ tongを使って大きなポンポンを色別に区切ったマス目に入れる。

### 【 材料 】

- ・セクションケース(100円ショップ)
- ・色つきポンポン(100円ショップ)
- ・目印シール(100円ショップ)・プラスチック tong

### 【 作り方・準備 】



①セクションケースの1マスずつにねらいの色(目印シール)を貼る



②ポンポンを色別に準備

1 健康の保持

2 心理的な安定

3 人間関係の形成

4 環境の把握

5 身体の動き

6 コミュニケーション

### 【 使い方(指導方法) 】



① お皿に入れているポンポンを tong で1つずつ掴む。

② それぞれの色の目印シールが貼られたマス目に1つずつ入れる。

### ※アレンジポイント

- ・活動になれてきたら、マス目を増やす(マス目の多いセクションケースに変更)
- ・ポンポンではなく、マス目にぴったりとはまるスポンジに変更することも可

4－(4) 感覚を総合的に活用した周囲についての把握と状況に応じた行動に関すること

関連項目 5－(5) 6－(2)

## ぺこぺこあおむし～りんご食べちゃった～



## 【 ねらい 】

○指先の感覚や穴の大きさが分かり、あおむしを動かしながらひもを穴に通す。

## 【 材料 】

- ・スポンジシート
- ・フェルトボール
- ・モール
- ・毛糸

## 【 作り方・準備 】

①スポンジシートを「りんごの形×3枚、葉っぱの形×1枚に切る。

②「りんごの形のうち、1枚は葉っぱのスポンジシートが挟めるように上部を少しカットしておく。

③「りんごの形のスポンジシートの穴をくりぬき、3枚を重ねてボンドで付ける。

④フェルトボールにモールを通して、あおむしを作る。りんごとあおむしに毛糸を結び付けてつなげる。

## 【 使い方(指導方法) 】

- ①(『はらぺこ あおむし』の読み聞かせ後などに)「あおむしさん、りんごを食べて」等の声を掛ける。
- ②難しそうな場合は、教師が実演して見せる。
- ③穴をたくさん通れたら「りんご、おいしかったね」などと称賛する。

## ※アレンジポイント

- ①穴の大きさや数を変えることで、つまみ出す指先の力が変わったり、集中力を高めたりできる。(色や大きさの違うあおむしを複数用意してもよい)
- ②「左の一番大きい穴を通して」等、穴の場所を指定することでコミュニケーション面や認知面へのアプローチも期待できる。
- ③友達と対戦型ゲームにしても盛り上がる。

1 健康の保持

2 心理的な安定

3 人間関係の形成

4 環境の把握

5 身体の動き

6 コミュニケーション

## 『ぜんぶいれよう！』

教材写真



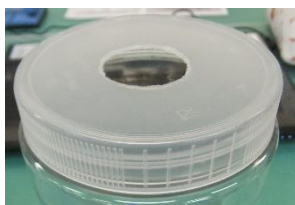
## 【 ねらい 】

○小さい物を一つ一つ指でつまみ、容器の穴の中に落とし入れる。

## 【 材料 】

- ・蓋付きPET容器(100円ショップ)
- ・小さめスーパーボール(100円ショップ)
- ・ソフトガン用の矢(100円ショップ)

## 【 作り方・準備 】



①PET容器の蓋にスーパーボールとソフトガンの矢が通る穴を開ける。



②容器に落とす物をまとめる箱を用意する。

## 【 使い方(指導方法) 】

①蓋の穴を指差して「入れてください」と声を掛ける。

②初めはボールや矢を一つずつ手渡す。徐々に箱から自分でつまんで入れるよう促す。

③入れられたら称賛する。続けてつまんで入れたり、全部入れてたりできたらさらに称賛の言葉掛けをする。

## ※アレンジポイント

①入れる活動の流れが安定してきたら、「ボールを入れて」「赤いのを入れて」など指定を入れていく。

②片付けまでをねらいの活動として、ボールと矢を箱に分けて片付ける取り組みを加える。

自立活動 こんな子にオススメ！⇒動くものが好きな子に！自分で操作する楽しさを感じてほしい！

4ー(4) 感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動に関すること  
関連項目 2ー(1) 5ー(5)

## 『タッチでゴーゴー！』

### 教材写真



### 【ねらい】

○玩具の動きに意識を向けながら、自らスイッチ(iPad画面)に手を伸ばすことができる。

### 【材料】

- 玩具(プラレール)
- iPad(アプリ『タッチあんどびーぷ』)
- 乾電池MaBeee(マビー) 単4電池

### 【作り方・準備】



①乾電池MaBeee(マビー)に単4電池をセットする



②①を玩具(プラレール)にセットし、スイッチをONにする



③iPadのアプリ『タッチあんどびーぷ』を起動し、設定をする  
⇒「MaBeeeを動かす」項目を「接続」モードで接続確認  
(⇒サウンドの選択⇒決定)⇒▶



④③の設定後、左記画面で、玩具の動作確認をする  
(⇒画面をタッチしたときに玩具が動けば準備完了)

### 【使い方(指導方法)】

- ①見本を見せ(iPadを触り、玩具を動かし)、意欲付けを図る
- ②生徒が画面に触り、玩具が動いたら称賛する。
- ③止まったら、さらに遊ぶよう促す(②～③の繰り返し)

### ※アレンジポイント

- 自分で遊ぶ玩具を選べるように、いくつか種類を用意しておくとい。

1 健康の保持

2 心理的な安定

3 人間関係の形成

4 環境の把握

5 身体の動き

6 コミュニケーション

## 「はいるかな？」



### 【 ねらい 】

●いろいろな物を指で操作し、目的の缶の穴に入れることによって、目で見ながら物を操作する力(物を押す、ひねる、回すなど)を高める。

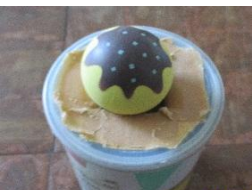
### 【 材料 】

・缶 ・プラスチックの蓋 ・いろいろな物→たこ焼きの模型(ゴム製)、鈴が入ったもの(団子型)、鈴が入ったもの(卵型)、たま(発泡スチロール製)

### 【 作り方・準備 】



①缶はプラスチック製の蓋を使っているものを選び、蓋の真ん中にカッターで物が入る程度の穴を開ける。



②入れる物については、ほとんど100円ショップで探してきたものばかり、1つは、ゴム製のたこ焼き。掴むと音が鳴り、生徒の興味をひく。



③2つ目は、猫の玩具として使うもので、中に鈴が入っていて、動かすと鳴り響く。これも生徒の興味を引きやすいものである。



④3つ目は、卵型のもので、中に鈴をたくさん入れ、持って動かすことでよい音が響きやすく、生徒が興味をもてるものにした。

### 【 使い方(指導方法) 】

①生徒の前にお盆を置き、そこに穴の開いた缶を置く。

②教師が「これを入れてください。」と言って提示するとそのものを掴み、缶の上に置き、指で押して入れる。

③上手に入れられたら、称賛する。

### ※アレンジポイント

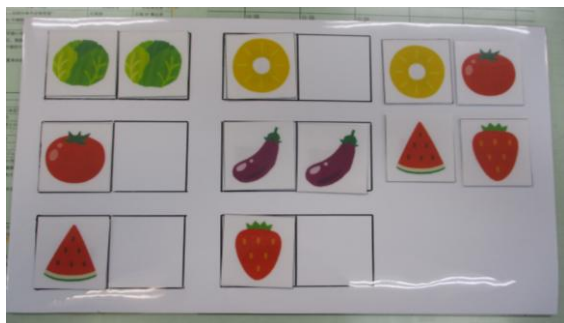
入れる物を自由自在に形や質を変えて行うことができる。

## 4ー(5) 認知や行動の手がかりとなる概念の形成

関連項目 6ー(1)

## 絵カードのマッチング～物の名前を知ろう～

## 教材写真



## 【ねらい】

教師からの言葉掛けに応じて絵カードを選んだり、絵カードの名前を伝えたりすることができる。

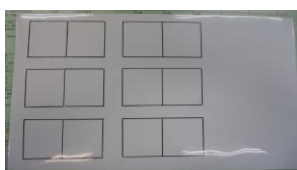
## 【材料】

ホワイトボード、マグネットシート、絵カード

## 【作り方・準備】



①絵カードを印刷してラミネート氏、マグネットシートを貼る。



②ホワイトボードに絵カードと同じ枠を2つずつ書く。

## 【使い方(指導方法)】

①見本の絵カードの右に同じ絵カードを貼るように促す。

②間違えた場合は、絵カードを元に戻し、正答の絵カードを指さして再度実施する。

③すべての絵カードをマッチングすることができたら、「すごい」「できたね」などと称賛する。

## ※アレンジポイント

①「○○はどれ？」の指示で絵カードを指さす

②足りない絵カードの名前を言う

その他:絵カードは食べ物や日用品、身近で発音しやすい語彙を設定する。

## おなじ色は、ど～れだ？

### 教材写真



### 【 ねらい 】

○缶スツーカーの穴をよく見て、ボールから手を離し、缶スツーカーにボールを入れることができる。  
○色の違いを認識して、同じ色のボールを重ねて入れることができる。

### 【 材料 】

・缶スツーカー  
・カラフルボール

### 【 作り方・準備 】



①缶スツーカーの中に見本となる色のボールを入れておく。  
②選択用のボールが見えやすく、つかみやすいように、空間に余裕がある箱にボールを入れておく。

### 【 使い方(指導方法) 】



- ①同じ色のボールをそろえて入れることを伝え、手本を見せる。
- ②ボールが入っている箱の中からボールをひとつ取るように促す。
- ③缶スツーカーに入っているボールの色に注目することができるよう、缶スツーカーの位置を調整しながら、同じ色のボールを探すことができるように支援する。
- ④同じ色のボールを見つめることができたなら、同じ色が重なるようにボールを入れるよう促す。

### ※アレンジポイント

- ①選び取ってほしいボールの色を具体物、写真や色カード、言葉で伝える。
- ②指示された色のボールを簡単に入れられるようになったら、提示するボールの色を増やす。難しいようであれば、提示するボールの色を減らす。
- ③様々なパターンでボールを入れた写真カードを用意して、同じようにボールを入れるよう促す。



自立活動    こんな子にオススメ！⇒キラキラとじゃらじゃらした音が好き。手と目の協応・手指の動き

4ー(1) 保有する感覚の活用に関すること    5ー(1) 姿勢と運動・動作の基本的技能に関すること  
関連項目    ー( )

## ガチャガチャ入れてみよう！

### 教材写真



### 【 ねらい 】

- ボールをよく見てつかもうとする。
- 手を開いて、ボールを離す。

### 【 材料 】

ジャグ    ガチャガチャの入れ物(いろいろな大きさとし色)    ビー玉    鈴    銀色テープ

### 【 作り方・準備 】



① ジャグの穴を塞ぐ。



② ガチャの入れ物に、鈴やビー玉やキラキラするものを入れる。



③ ジャグの口にテープを貼る。

### 【 使い方(指導方法) 】

- ① 音を鳴らしながらガチャボールを提示する。(いろいろな角度で鳴らす)
- ② 目線が動き、ガチャボールを見たら「ここにいれてね」と言葉掛けをする。
- ③ ガチャボールは教師の手のひらや机の上に置き、自分からボールに手を伸ばすのを待つ。

### ※アレンジポイント

ガチャボールの中に点滅する光るおもちゃを入れるととてもよく見ていました。また、ビー玉の量を調整すると重さが変わります。

1 健康の保持

2 心理的な安定

3 人間関係の形成

4 環境の把握

5 身体の動き

6 コミュニケーション

## 『たくさんあるこう』

### 【 ねらい 】

○興味を引くものをつかもうとする動作によって、体を前に出して歩くことができる。

### 【 材料 】

・プラスチックのくすりびん、赤い毛糸、タイル

### 【 作り方 ・ 準備 】

- ① くすりびんの中にタイルを入れ、音の調整をする。赤いビニールテープでしっかり巻く。赤い毛糸をリボン結びでつける。(本児が赤い色を好むため)
- ② ゲートレーナーの持ち手につける。長すぎないように調整する。(口に入れてしまうため)

### 【 使い方(指導方法) 】

- ① 本児をゲートレーナーに乗せる。
- ② 赤いくすりびんを見ながら進む。足がつかえないように注意する。
- ③ 歩行できたら賞賛する。

### ※アレンジポイント

- ①: 児童の喜ぶもの、喜ぶ音を見つけ時々変えられると良い。

1 健康の保持

2 心理的な安定

3 人間関係の形成

4 環境の把握

5 身体の動き

6 コミュニケーション

自立活動

こんな子にオススメ！⇒目と手の協応動作を促したい、左右両手指を使ってほしい  
手指の力加減調整の練習、色・形・数への関心がある

5ー(5) 作業に必要な動作と円滑な遂行に関すること

関連項目

4ー(4)・(5)

6ー(2)

# 『つなげて(つくって)みよう！』

教材写真



## 【ねらい】

- はめ込んでつなげる方法が分かり、色や長さなどに興味をもちながら、つなげて楽しむ。
- 教具をよく見て、両手指を使って長くつなげたり、いろいろな形を作ったりする。

## 【材料】

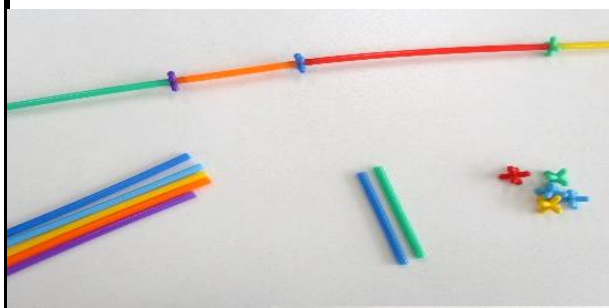
- ・ジョイントスティック(100円ショップ)
- ・1袋分量:(ロング12本、ショート4本、ジョイントパーツ12個)

## 【作り方・準備】



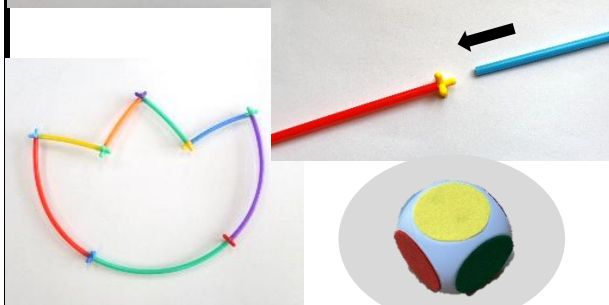
- ① 色や長さ、形などで(用途)別にして、パーツを選びやすいように分けておく
- ② モデルとしてつなげたものや完成イメージ図を提示できるように準備しておく

## 【使い方(指導方法)】



- ① スティックの穴にジョイントパーツの凸部分をはめ込むやり方を知らせる。  
\*よく見ること(目と手の協応)  
\*左右の手指を使うこと・力の調整

- ② つなげることができたら称賛する。  
\*色の選択・確認  
\*長さ(ロング・ショート)の選択・確認  
つないだ本数の確認(数唱・一対一対応)  
\*最初から作りたい形があるときは、イメージ(見本)の提示・確認



- ③ 片付けも学習！  
\*両手を使って外す(ポン！音を楽しみながら…)  
\*色分け・長さ分け・形 など『分別』をねらいに！

## ※アレンジポイント “友達と一緒に！”

- ①:色の表示のあるサイコロを順番に振り、その色のスティックでつなげ、友達と協力して長くしていく
  - ②学級活動で…実態の異なる生徒が役割分担、協力して完成させる喜びを！  
A:サイコロを振る B:同じ色のスティックを選ぶ C・D:はめ込み、つなげる
- ★教室の端から端までの長さをつないだり…みんなを丸く囲んだり…

1 健康の保持

2 心理的な安定

3 人間関係の形成

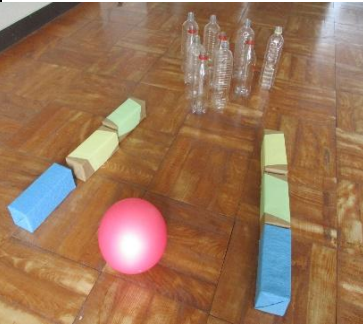
4 環境の把握

5 身体の動き

6 コミュニケーション

## 『いっぱい たおそう』

### 教材写真



### 【 ねらい 】

- ボウリングのやり方が分かり、自分なりのやり方でピンに向かってボールを転がすことができる。
- 投げる順番が分かり、自分の順番まで待つことができる。

### 【 材料 】

- ・ペットボトル(1Lサイズ)・牛乳パック・包装紙
- ・滑り止めシート・ボール(柔らかめな物)
- ・ホワイトボード・顔写真、イラスト、数字カード

### 【 作り方・準備 】

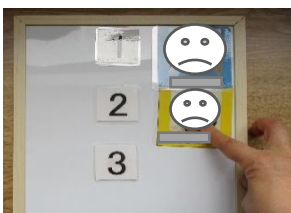


- ①牛乳パックを包装紙などで包み、底になる部分に滑り止めシートを貼り付ける。

- ②順番を示す数字カードと、自分の番になったことが分かるイラストカードを作り、ラミネートを掛けマグネットをつける。

### 【 使い方(指導方法) 】

- ※ペットボトルのピンを並べた後、レーンのバンパーになるように牛乳パックを並べる。



- ②順番だけをを示したホワイトボードを見せ、「○番にやりたい人」と自分が取り組みたい順番を募る。自分の顔写真カード順番の数字カード脇に貼ってもらう。



- ③ホワイトボードを見せながら、数字の横にイラストカードを貼り、『今、やる人』の印を貼って意識づけ、呼ぶ。  
⇒ボウリングをする。

### ※アレンジポイント

- ・今のクラスの子ども達は自分なりに前に向かって転がせたが、それも難しければ、牛乳パックのブロックを増やして上部に板を置き、スライダーを作ってあげることもできる。

5ー(5)作業に必要な動作と円滑な遂行に関すること

関連項目 6ー(4) 2ー(3) 4ー(4)

## 『チャームをならそう』

1 健康の保持

2 心理的な安定

3 人間関係の形成

4 環境の把握

5 身体の動き

6 コミュニケーション

### 【ねらい】

○iPadの画面を見ながらスイッチ操作をし、チャームの音を出して当番の活動をする。

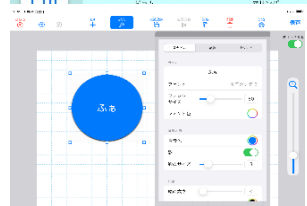
### 【材料】

・DropToneアプリ

### 【作り方・準備】



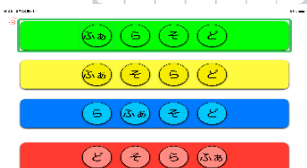
①DropToneのアプリを開き、左上の新規作成をタップする。



②スタイルや配置の画面から、形や文字、イラストなどを入れる。



③サウンドの画面から、音を選択して入れる。楽器はピアノ、ギター、ドラム、マリンバ、フルートなど15種類、音階は3オクターブから選ぶことができる。和音(コード)も作成可能。



④1小節を同じ色にしたり同じ音は同じ色や形にしたりすると視覚的にわかりやすくなる。

### 【使い方(指導方法)】



①iPadにフックプラスとスイッチを接続する。

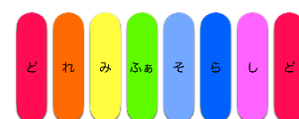
②作成したチャームの画面を出す。

③画面を見ながらスイッチを操作して、チャームの音を鳴らす。

### ※アレンジポイント

①知っている曲を入れて演奏することができる。

②効果音や楽器の画面で音を出して楽しむことができる。



# もぐもぐ おいしい！

## 教材写真



## 【ねらい】

○絵本やアプリを通じて食事場面を想起し、食べることに興味をもち、その行動に応じた発語をしたり、絵本を捲ることやタブレットをタップをすることで食事場面を進めたりする。

## 【材料】

- 絵本「いただきますあそび」
- アプリ「あそべびー」ごはん

## 【作り方・準備】

## 【使い方(指導方法)】

- ①絵本を捲りながら、読み聞かせをして「おいしい」という言葉を促す。
- ②アプリ「あそべびー」ごはんを見て、職員が支援しながら「あーん」「もぐもぐ」「おいしいね」の手順でタップの動作や発語を促す。
- ①②の活動は順不同。

## ※アレンジポイント

絵本やアプリを活用しながら食べることやアプリのタップに興味を持つだけでなく、「おいしい」の正しい発語を促すことを考え、今後は透明マスクを使い職員の口元(口の形)が見える工夫をしながらやっていきます。

1 健康の保持

2 心理的な安定

3 人間関係の形成

4 環境の把握

5 身体の動き

6 コミュニケーション

## 「カードを使って伝えよう」

### 教材写真



### 【ねらい】

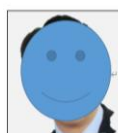
昼休みの余暇活動の際、遊びたい相手や遊びたいことなど、自分の思いを安心して伝える。

### 【材料】

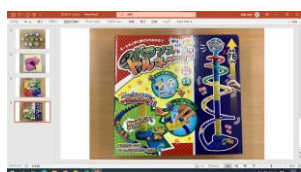
・人物(職員)の写真カード・遊びたいことの写真カード・選んだカードを貼る台紙

### 【作り方・準備】

①生徒の好みを把握し、必要な写真を撮る。



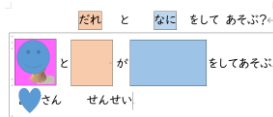
②撮った写真をパワーポイントに貼り付ける。(shiftキーを押しながらドラッグすると縦横比が維持したまま拡大できるのでオススメです。もし写真のみでカードを作るのであれば写真のフォルダの印刷機能を使っても同じサイズになるのでこの作業は不要です。)



③作成したパワーポイントを4シートもしくは6シート設定で印刷する。(複数の写真カードを作成する際に、カードの大きさを統一したい場合はこの機能を使うと楽な印象があります。)  
印刷したものをラミネートし、後ろにはマジックテープを貼る。



④写真カードのサイズに合わせて台紙づくり。  
マジックテープを貼る。



### 【使い方(指導方法)】

- ① 職員のカードや遊ぶことカードを見せつつ、「誰としたい?」「何して遊ぶ?」などの声掛けをする。
- ② 選択したカードを指定の場所に貼るように促す。
- ③ 選択した人と選択した遊びをする。

### ※アレンジポイント

選択すること、伝えることへの負荷が少なくなってきたら、他の場面でも活用し、本人の意思を伝える場面を増やしていく。